

沢合宿 只見川支流大白沢総括

齋藤 宇

■山行年月日:2023年7月15~17日

■メンバー:国分勉 佐藤敏二 大竹幹衛 大竹尚子 小沼充範 齋藤美和子 杉崎圭洋 阿部満孝 大出茂陽 齋藤宇

■コースタイム:15日 若郷湖西公園 4:30~砂子平 8:15~只見川渡し 8:25~9:25 大白沢入渓 9:45~魚止沢先巻道 終了 11:45~池ノ沢出合 15:00~荒山沢出合 16:00

16日 パーティー行動

17日 荒山沢出合 7:00~池ノ沢出合 7:30~東オオタボ沢出合 9:10~大白沢右岸の巻道 11:00~只見川渡渉 11:45~12:40~砂子平 12:50

当日は早朝から雨。天気は回復の予定。砂子平で行動準備。歩き始めた頃雨が上がった。別荘の脇を抜け、踏み跡を辿り只見川へ。これが「渡し」か。降雨後で水量多く利用する。最初は戸惑い、大人数で時間がかかるが、後半は慣れて手際良く両岸で連携。巻道からはブナの台地が素晴らしい。大白沢も水量多く降雨後だからか濁っている。大人数で年齢層の幅も広いので、ゆっくり慎重に行動。池ノ沢出合からは滝や釜を避け、右岸の薄い踏み跡を辿る。幕営予定の荒山沢出合到着はもういい時間。テント設営、薪集め、釣りと、てきぱきと幕営準備が進み山の恵みをいただきながら二日間とも大人数での楽しい夜を過ごした。

そもそも当初の年間計画では今年の沢合宿は黒谷川源流域。大白沢に変更した理由は3つ。

1 国分さんの大ハゲ沢の大滝の写真が魅力的だった。2 多様な年齢層に対応できる様々なルートを想定できた。3 CL変更で合宿計画の練り直し。

計画段階から下山に至るまでCLの判断が必要になる場面が多く、いい経験になりました。人数・年齢・経験に幅があるメンバーで、最も気を付けるべきは事故。無理はできない。皆さんの協力により事故なく、食事も充実し、各々が楽しめた山行という感じ。2023年のいい夏の思い出になりました。



渡しの手際が良くなっていく・・・